

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こどもプラス盛岡南教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。 ・運動遊びを通して心身の成長の一助となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しみながらスモールステップで自然に運動能力を身につけることで、達成感や意欲を育めるよう、「運動保育士」等の資格を持った職員による運動指導が受けられるようにしている。 ・朝礼や午後のミーティングで前日の様子も報告し合っており、次回に向けてより良い方法を考え続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて支援プログラムのフィードバックや新しい取り組みを、職員間で共有しながら立案している。 ・ケース会議やアセスメントの研修を実施していき、職員のスキルアップをより図っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な研修を受講できる環境にある。 ・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が1回/毎月、フランチャイズ本部による療育・運動や感染症等のZOOM研修を受けている。 ・子どもたちや保護者の方が過ごしやすいように、毎日の清掃を行っております。また、掲示物も季節の物に変更したり、通路を広く使えるように、整理整頓も心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面での外部研修を増やし、参加できる職員みんなでするようにし、専門性を高めるようにしつつ、関係機関とのつながりを強化していく。 ・子どもたちが、スペースを有効に使用できるよ整理整頓に気を付けている。
3	児童発達支援と、放課後等デイサービスの両方を行っているため、小さい子の世話をしてくれたり、大きい子の姿を見て真似ようとしていたり、お互い助け合いながら良い関係や関わりができています。	お互い楽しんで過ごせるよう個々に合わせた取り組みができるよう、個別的な配慮や支援に取り組んでいる。	日々の活動（運動あそび）や遊びの中で楽しみながら学べるよう、工夫しながら支援をしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動時に起きた怪我や事故等はフィードバックの場で共有を行い、その後も経過なども共有している。 ・事故のリスクになりそうな事柄についてはスタッフ間でも共有を行い、以降の再発防止となるような対策についても共有に努めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対応について、マニュアルに定め社内で周知していきます。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めていきます。 ・また日頃起こり得る状況に対してスタッフ間で確認し、未然に防げるように努めていきます。
2	こども園や保育所、幼稚園等、地域のこどもと交流する機会がない。	現在は遠方の公園や商業施設などの外出時の関わりのみとなっている。こども園や保育園、幼稚園に訪問することでのイベントは、当日の利用人数や送迎車、職員体制などを踏まえた企画をすることが必要となるため難しいと考えていた。地域交流についても同じようなことが予測されます。	感染症対策には引き続き注意をしながら、事業所内もしくは施設を借りることでイベントを企画し、地域のこども園や保育園、幼稚園のこども達と一緒に活動することを企画したいと思います。
3			